



夏の盆踊り大会

26日(土)の夕方から夏の恒例行事となっています「第36回8町内納涼盆踊り大会」が行われました。学苑からは、利用者31人と家族20人・職員16人が参加しました。

今年初めての踊りでしたが、みなさん楽しそうに踊っておられました。全体での踊りの時も、はなぞの学苑のみなさんが積極的に櫓に上り、踊りの輪に加わり盛り上げてくださいました。



今年参加されなかった方は、来年参加されてみてはどうでしょうか。今年初めて参加されたご家族の方もあとと聞きました。みなさんと一緒に、楽しいひと時を過ごしたいと思いました。

10月4日(土)には学苑祭を計画しています。もう準備に入っていますが、グループの出し物も考えています。ご家族みなさまでの奮ってのご参加をお持ちしています。

ばらグループの活動から



陶芸を中心に活動していますが、はり絵にも挑戦しています。色画用紙や折り紙をちぎって元絵に張っていく作業です。ただ色塗りをして完成させる絵よりも、ちょっと趣のある絵に仕上がりますね。



私も、大津養護学校で高等部の時に取り組んだことがあります。みんなで協力して作り上げる楽しさがありましたね。ばらグループさんのはり絵の完成を楽しみにしたいと思っています。

利用者の方がちぎった広告紙は、ばらのお便りの題字に生かされています。カラフルできれいな文字になっています。

活動内容を工夫していくと、楽しく取り組む利用者の姿を見られるようになり、そのことがとっても大事なように思います。何かができるようになることも考えない訳ではありませんが、楽しく取り組み、楽しく過ごすということをより大切にしていきたいと思っています。

夏休みの施設体験が始まります

10日ほど前、2日間にわたって施設見学会を行い多数の方に参加していただきました。その方々の中から8の方が体験に来られます。さっそく明日から熊本支援学校高等部1年生の2人が3日間の体験に来られます。

体験される方は、高等部1年生の生徒さんが多いのですが、将来のはなぞの学苑を担っていただく利用者さんとなられるかもしれませんので、丁寧に対応していきたいと考えています。

毎年、少しずつではありますが若い方が入ってこられます。若いということだけではないと思いますが、何となく活気づいてくるものだと感じています。最高齢の私が言うのもおかしいものかとも思うのですが。



今年のいちばんの目標として、「もっとうれしい・楽しい・大好き！」というキャッチフレーズを掲げています。若い方々の体験を一つの契機として、さらにこのことを考えていきたいと思っています。